

臨時農業生産情報

(降霜に対する技術対策)

令和5年5月8日

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

青森地方气象台によると、県内では、5月9日の朝は冷え込み、平野部でも霜のおりのおそれがあり、今後数日も降霜に対する注意が必要です。

この時期の農作物は、降霜等の影響を受けやすく、特にりんご等果樹の開花期から幼果期は、最も低温に弱い時期となることから、今後の気象情報に注意し、次の事項に留意して、被害の未然防止と軽減に努めてください。

1 水稲

- (1) ハウス育苗では、保温資材で被覆するか暖房器具で加温する。
- (2) トンネル育苗では、保温資材で二重被膜するか育苗箱の肩の高さまで湛水する(排水良好な苗代に限る)。
- (3) 霜害を受けた場合は、速やかに苗に散水し、被害の軽減に努める。

2 野菜・花き

- (1) ハウス栽培では、保温資材で被覆するか暖房器具で加温する。
- (2) トンネル栽培では、保温資材で二重被覆する。
- (3) 露地栽培の場合は、べたがけ資材で被覆する。
- (4) 被害を受けても回復の見込みがある場合は、早急に葉面散布剤などの散布により、回復に努める。また、苗の定植は、天候の回復を待って行う。
- (5) 降霜日は早朝低温であってもその後、青天となることが多く、日中はハウス内やトンネル等被覆資材下の温度が急上昇するおそれがあるため、適切な換気を行う。

3 りんご等果樹

- (1) 防霜ファンが設置されている園地では、ファンの始動温度を2℃に設定し、著しく低温になったときは、燃焼法を併用する。
- (2) 燃焼法では、気温が0℃になったら燃焼資材に点火する。
- (3) ぶどうの無加温ハウスでは、石油ストーブ等で加温する。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(水稲) 農産園芸課稲作・畑作振興グループ GM 成田 真樹 (野菜・花き) 農産園芸課野菜・花き振興グループ【発行元】 GM 木下 均 (りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ GM 小笠原 宜弘
電話番号	(水稲) 直通 017-734-9480 内線 5073 (野菜・花き) 直通 017-734-9485 内線 5076 (りんご等果樹) 直通 017-734-9492 内線 5092
報道監	農林水産部 次長(農商工連携推進監) 成田 澄人(内線:4966)

【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「農なび青森」からお申し込み下さい。